



第735号 2011.12.21
連合中越地域協議会
長岡市東蔵王2-2-68
TEL 0258-24-0515
FAX 0258-24-8930
発行人 矢島 良彦
定 価 1部10円



ながおかLSC
上期の事業実績報告
ながおかライフサ
ポートセンターは、
11月29日(火)10時か
ら4役会議を開いた。
会議は、矢島理事長
から、6月総会以降の
経過確認と今後の対応
について協議願いたい
旨の挨拶後開始した。
事務局からは、11年
度相談件数が、380
件程であり、昨年度と
同様な数値ならびに傾
向をたどっていること
が報告された。また、
相談内容も、心の悩み
や医療関係が多く、労
働関係が若干少なく
なっていることも説明
された。特に、心の関
係では「心と身体を守
るセルフケア」事業
パーソナルコースにつ
いて8月から実施し、
年内いっぱい予約で埋
まっているとの事業効
果が報告された。
続いて、事業計画の
実施状況について報告
があり、コーデイナー
ター研修としてのケ
ース検討会計画、8万8
千枚を超えるチラシポ
ステイング実施、タウ
ンページ広告変更等の
説明がされたほか、応

定期総会後初となる連合中越第1回幹事会を開催

12年度役員体制と当面の活動を確認

連合新潟対話会、新・旧役員引継ぎ会で運動の継続と発展目指す



連合中越地協第1回幹事会と新・旧役員引継ぎ会及び連合新潟斉藤会長との対話会が、12月15日(木)18時30分からホテルニューオータニ長岡で開催された。

第1回幹事会は、12年度の初幹事会となる。冒頭、矢島議長は「年度初となる幹事会だが、引き続き運動の継続発展に向け対応する」旨の挨拶を述べた。続いて、連合新潟斉藤会長から連合の目指す社会像とスローガンに込めた考えが提起された。特に、スローガンには運動への参加と拡大という当たり前のことを打ち出したが、役員まかせの運動でなく、より多くの人から運動に関わってほしい点と連合新潟組織人員12万人からプラスに転じる決意、連

合が目指す「働くことを軸とする安心社会」に向けた5つの安心の橋や年金13年問題等が強調された。

幹事会では、総会後の各種報告事項を確認した。続いて、各支部選出幹事とSJネット委員会選出幹事を含めた12年度役員体制、幹事会任務分担ならびに当面の諸課題について決定した。

幹事会後は、新・旧役員引継ぎ会が盛会に開催され、運動の継続と発展を目指すことが意思統一された。

日本人は、プレッシャーに弱いとか、大事な場面になると緊張しやすい人が多いとかといわれる。スポーツ選手のインタビューでも、緊張しないように心掛けたとか、緊張しないで良かった等というコメントをよく聞く▼一方、このところ(相も変わらず?)政治関係では、「緊張感が足りない」という言葉をTV・ラジオから聞こえる。緊張感とは張りつめた心持とか、注意深くやり気持が高ぶっているさまという意味のようだ▼防衛大臣と消費者担当大臣の問責決議案が参議院で可決し、第179回臨時国会も閉幕した。野田総理

は「両大臣においては自らを省み、襟を正して職務遂行に全力を挙げてもらいたい」と述べた▼国会召集前の民主党代議士会では代議士会長が緊張感を持って臨むよう呼びかけたようだが成されなかった。遡れば、野田内閣発足間もなく、「死の街」表現や「放射性物質がうつった」という趣旨の発言で就任わずか10日間で辞任した前経産大臣の不祥事を忘れたとは言えないはずだ▼「緊張」と「緊張感」、その意義・使い方に違いはあるが、政治家には、自覚と責任、緊張感・善管注意義務で責務を果たすことがあたりまえだ。



事務局長 小林 守

援団の活動状況についても報告された。また、来年3月末で閉鎖となるサテライト対応に配慮して行くこと、HP作成を検討していく事等が確認された。

長岡地区労福協 石井めぐみさん講演会
長岡地区労福協は、11月29日に事務局会議を開催し、新潟県労働者福祉協議会が計画する講演会について協議した。

会議では、人にやさしい街づくりをテーマとする講演会開催を決定し、依頼の結果2月26日(日)13時30分から開催することになった。講師は、女優の石井めぐみさん。演題は「やさしい街やさしい人」。また、講演会では、他団体の報告等も盛り込み、人となりがつながりあい、心豊かな地域社会づくりにつながることを期待している。詳細は別途となるが多くの参加を募りたい。

公開シンポジウム「ゆたかに学ぶ高校教育を考える」が12月10日(土)朱鷺メッセで行われた。このシンポジウムは「ゆたかに学ぶ」が1年間の議論を経てまとめた最終答申を踏まえ、広く県民に訴える取り組みの一つとして公開で開催された。また、答申まとめの感想が述べられた。斉藤会長からは、連合として関わりのある就労関係の対応等が述べられた。また、普通科と専門学科の比率が8対2なっている実態は、大学進学率向上が目的化された結果とする考えやそのことによる進路の多様性や地域と高校との関係性が薄くなってしまった等も答申で指摘された。



パネラーからは、高校教育への思いとして、自身の体験や保護者としての考えが語られた。また、答申まとめの感想が述べられた。斉藤会長からは、連合として関わりのある就労関係の対応等が述べられた。また、普通科と専門学科の比率が8対2なっている実態は、大学進学率向上が目的化された結果とする考えやそのことによる進路の多様性や地域と高校との関係性が薄くなってしまった等も答申で指摘された。

しい街づくりをテーマとする講演会開催を決定し、依頼の結果2月26日(日)13時30分から開催することになった。講師は、女優の石井めぐみさん。演題は「やさしい街やさしい人」。また、講演会では、他団体の報告等も盛り込み、人となりがつながりあい、心豊かな地域社会づくりにつながることを期待している。詳細は別途となるが多くの参加を募りたい。

パネラーからは、高校教育への思いとして、自身の体験や保護者としての考えが語られた。また、答申まとめの感想が述べられた。斉藤会長からは、連合として関わりのある就労関係の対応等が述べられた。また、普通科と専門学科の比率が8対2なっている実態は、大学進学率向上が目的化された結果とする考えやそのことによる進路の多様性や地域と高校との関係性が薄くなってしまった等も答申で指摘された。

サラリーマン川柳(怪しいぞ 今夜の夫 良くしゃべる) (お名前が 浮かばないまま 長話) (検診を 終えたら帰りは 食べ放題) (あつたかい 今は妻より 風呂・便座)

サラリーマン川柳 (ダイエツト食費以上に金かかる) (飯・風呂・寝る) どうぞ自分でご勝手に (体調が悪くて病院) 明日にする (メガネ屋の視力検査でCと言い)



連合中越各支部定期総会を開催

新年度の活動方針を決定、栃尾支部は総会をもって解散

見附支部

11月25日、連合中越見附地区支部はホテルレオナントにおいて、2011年度定期総会を開催いたしました。

来賓に中越矢島議長をはじめ、菊田衆議院議員(秘書代理)、井上、佐々木見附市議、労金北長岡支店長、上田顧問をむかえ今年一年の活動を審議しました。見附元気の会、上田顧問主催のそば会等と連携をとりながら蕎麦を通じた一連のボランティア活動や春闘、メーデー、平和活動の報告がなされました。蕎麦を通じたボランティア活動につきまは、食べるほうも含め中越の協力ありがとうございました(今後も続けます)。



栃尾支部

12月9日(金)栃尾支部総会を栃尾地区内大覚におきまして開催しました。

当日は連合中越より矢島議長より来賓出席していただき、開催しました。2年間に渡り栃尾支部組織運営を協議してきましたが、今総会を以って連合中越に吸収、解散となります。各組織役員、組合員の方々には大変お世話になりました。今後は3月までの清算、残務整理、解散パーティーで栃尾支部での組織活動は終了となります。その後は連合中越より単産、単組の組合員としての活動に引き継がれますのでよろしくお願い致します。



そして、2月24日に解散パーティーを福田屋で開催となりますので、最後は多数の参加者で盛り上がりましょうということになりました。

その後、引き続いて行われた懇親会には皆さんの思いが詰まっていたのか、盛大に盛り上がり、大きな声がこだましていました。そして話題が尽きず、長時間に渡っていました。

小千谷支部

11月25日(金)に第4回連合中越小千谷支部定期総会がプラザ片山にて開催されました。

当日は川上市議より来賓の挨拶を頂いたあと1年間の活動総括と次年度の支部活動及び予算の承認をいたしました。

その後、役員選考委員会より新役員の選出が提案され承認となりました。

最後に新支部長に就任されました小林支部長の「団結頑張ろう!」で締めくくりました。



北魚沼支部

12月2日小出郷勤労会館にて、単組代表者会議兼支部総会を行いました。小林中越地協事務局長から挨拶をいただき、11月の地協総会にて、重点課題等承認されたことを受け、北魚沼支部1年間の行動報告と次年度の支部独自活動、予算、新幹事体制等を確認しました。特に今年度においては北魚沼LSCの解散、新潟・福島豪雨災害により、クリーンキャンペーンを中止した事が報告されました。

スローガン、総会宣言の承認後、最後は次年度の活動に対して武藤支部長の「団結ガンパロー」で締めくくりました。



南魚沼支部

南魚沼支部は、12月2日(金)に、例年通り南魚沼市内「ホテルニュー越路荘」にて総会を開催しました。

幹事、代議員とも全員参加のなか、議事も滞りなく終了し、



来期への意気込みを確認したうえで、五役体制となる次期役員を選出して閉会となりました。

終了後は同ホテル内で懇親会となり、こちらも盛り上がりのなかで終了となりました。



十日町支部

12月2日(金)、第4回連合中越十日町支部総会を開催しました。あいさつで山口支部長は、十日町地域は今年度豪雪から始まり地震、水害と大災害が続き、連合中越からも水害ボランティアにご協力いただいたことに感謝を述べました。

新年度の活動方針は前年度を踏襲しますが、3月で十日町ライフサポートセンターが閉鎖になり書記も置けなくなるため、

事業の見直しも検討しなくてはならないことを説明し承認を受けました。

